

なと市議会だより

第145号
2014.2.1



プロサッカー選手がサッカー教室を開催

平成25年12月、日本プロサッカー選手会の皆さんが第一中学校を会場にチャリティサッカー教室を開催しました。東日本大震災以降、野球やサッカーなど多くのプロスポーツ選手が名取市を訪れ、子供たちに元気と夢を届けています。

12月議会
ヘッドライン

市政に切り込む12人

一般質問 P 2

子供たちの医療費助成拡充！
入院費が中3まで免除に

条例 P 9

新たに被災沿岸部の253ヘクタールが災害危険区域に

条例 P10

名取市の公立幼稚園の廃止撤回を求める請願が継続審査へ

請願 P10

一般質問

市政のことが聞きたい

「一般質問」は市の執行部に対し、政策提言や事務の執行状況についてたずねるものです。本定例会における一般質問は、12月9日から11日までの3日間行われ、12人の議員から31事項、80項目の質問がありました。各議員の一般質問のうち、1項目を掲載しました。なお、掲載項目以外については、その他の一般質問として、項目のみ掲載しています。

今野栄希 議員 P 2

・防災対策について

佐々木哲男 議員 P 3

・雷神山古墳の整備と利用促進について

郷内良治 議員 P 3

・有害鳥獣対策について

大沼宗彦 議員 P 4

・高齢者、障がい児者にやさしいまちづくりについて

星居敬子 議員 P 4

・暑さ対策について

大友康信 議員 P 5

・行政サービスの向上について

相澤 雅 議員 P 5

・市政運営について

小野寺美穂 議員 P 6

・東日本大震災で受けた支援について

菊地 忍 議員 P 6

・難聴に対する支援について

山田司郎 議員 P 7

・空き家等の適正な管理について

荒川洋平 議員 P 7

・被災者等への情報提供について

佐藤正博 議員 P 8

・復旧・復興について



市長 地域の中で合意が図られ、施設の協力が得られれば、地域の一時避難所として利用が



▲東日本大震災発災時の救助作業の様子

議員 地域防災計画、ハザードマップの見直しをすべき。
市長 ハザードマップの見直しは、現在、津波ハザードマップ等整備事業の中で作業を進めている。新たに作成した市民防災マニュアルの中に掲載し1月1日に毎戸配布する。
議員 寺院等の民間施設を避難場所に指定すべき。



今野栄希 議員

市長 東日本大震災を教訓に各種マニュアルの見直しを進めており、地域の皆さんと共同で公民館区を単位とした地域の実情に応じたマニュアルを予定しており、その中で避難

望ましいと考えている。町内会・自主防災組織に働きかけていきたい。
議員 避難所運営マニュアルを策定し、地域住民に周知徹底を図るべき。

答 見直しの上、毎戸配布する

津波ハザードマップの見直しは

所の運営等についても話し合い、周知徹底していきたい。
議員 消防団に支払う災害時の出勤手当を上乘せすべき。
市長 大震災発災時、消防団員は、危険な業務や長期にわたる捜索活動に従事し、過去の異常気象時の警戒及び災害発生時においても、長時間にわたる防衛活動を実施したことなどを合わせて考え、出勤手当の見直しを検討している。

〈その他の一般質問〉
▽民間活力の導入について
▽級別職員の適正バランスについて
▽患者負担軽減と医療費削減について
▽企業誘致について
▽障がい者の雇用促進について

史 跡雷神山古墳の環境整備と利活用促進について

答 保存活用計画等に基づき実施したい



佐々木哲男 議員

議員 東北地方最大の前方後円墳、雷神山古墳が、来訪者や市民に広く親しまれるよう、案内板の整備、あずまやの再建、ベンチの設置等の環境整備を推進するとともに、地域の振興、文化・スポーツの振興につながる仕掛けを企画すべき。



▲環境整備と利活用促進が期待される史跡雷神山古墳

市長 本市にとって最も大切な文化遺産の一つとして、重要な役割を担っている。保存し後世に継承していくことが、私たちに課せられた責務であり、有効利用を図ることも求められている。静的に維持・管理することにとどまらず、文化財の保存と活用の両立という観点から、地域の活性化やまちづくりを生かす事業や、イベント開催等の動的な活用方法についても検討が必要であると考えている。

教育長 史跡を、歴史や文化に根差したまちづくりの中核として位置づけることで、地域振興や地域コミュニケーションの活性化、地域の

協働につながるなど、大切な役割を担うものと認識している。文化財の利活用については、今後策定される歴史文化基本構想に伴う保存活用計画の方針に基づき実施していきたいと考えている。

雷神山古墳の積極的な活用については、史跡公園の設置目的等に照らしながら、古墳を活用した行事等について、学校や地域の人人、関係機関等に働きかけを行ってまいります。

〈その他の一般質問〉
▽地域防災計画について
▽土砂災害警戒区域について

イ ノシシ増加に伴う農作物被害への対応策は

答 捕獲活動の費用等の負担を検討する

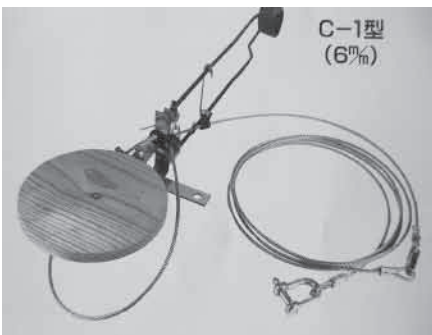


郷内良治 議員

シシによる農作物被害が出ていますが、その対応策を伺う。

市長 鳥獣被害防止対策事業を円滑に進めるため、名取市有害鳥獣対策協議会の事務執行体制を見直し、実行力のある組織に変更を行ってきている。

名取地区有害鳥獣捕獲隊員へ許可を行い、愛島・高館地域で合計5頭を捕獲している。その後、11月29日現在で4頭捕獲している。



▲イノシシ捕獲用のわな

議員 宮城県自然保護委員によると、イノシシは繁殖力が旺盛で、1頭のイノシシから最低でも年間5頭程度ふえるとのことである。そのことを踏まえると危機感を持って駆除に取り組む必要がある。これまで捕獲隊員は私物の猟具を使用している。今後、猟具及び費用弁償等の補助をすべきと考えるがどうか。

市長 本市及び市有害鳥獣対策協議会が所有している捕獲わな類がないことから、これまで猟友会岩沼支部のものを借用し捕獲を行ってきた。今後わな類の購入費用や、捕獲活動への賃金、費用弁償等の負担を有害鳥獣対策協議会で検討していく。

〈その他の一般質問〉
▽自然環境保全地域の維持について

腰駅のバリアフリー化の見通しは

答 引き続きJRに要望していく



大沼宗彦 議員

議員 安全に通行できるように道路の段差と歩道の整備を進めるべき。
市長 道路の段差解消は、道路パトロールの充実や住民からの情報で速やかに対応できるように努力していく。
 歩道の整備は、名取駅周辺や中心市街地の通行が多く見込まれる



▲バリアフリー化が待たれる館腰駅

路線は実施してきた。交通量の多い路線の既設歩道改修に着手し、段差を解消しバリアフリー化を実施している。
議員 公園のトイレを車椅子でも利用できるよう改修すべき。

市長 平成25年度は十三塚公園の多目的トイレ改築を進めているが、全ての公園のトイレを改修するには費用等の問題から早期の対応は困難である。
議員 公園表示板に障がい児者用トイレを明示し、周知を図るべき。
市長 公園の規模に応じて表示板を設置している。市ホームページの特徴ある公園の紹介にも掲載している。

議員 第5次長期総合

計画に盛り込まれた館腰駅のバリアフリー化の実現の見通しは。
市長 平成20年にJRと協議した際、1日の乗降客が5000人以上の駅を重点的に整備するとされており、基準に達していないため優先順位は低い。市で事業費の負担や用地の提供等を行う場合には、事業の許可を検討する旨の回答があった。

バリアフリー化の必要性は十分に理解しているので、引き続きJRに要望していく。

＜その他の一般質問＞
 ▼市街地内の下水道整備について▼教職員の健康とメンタルヘルスケア対策について

高齢者や子供の熱中症への取り組みと今後の対策は

答 予防の普及啓発と扇風機等を整備する



星居敬子 議員

議員 熱中症が重症化しやすい高齢者へのこれまでの取り組みは。
市長 平成25年6月から9月の救急搬送は21人であり、そのうち9人が65歳以上の高齢者だった。対策として、広報なとり7月号や健康教育の場等で予防の普及啓発を図った。また、地域包括支

援センター職員が、講話や訪問の際に、水分摂取や予防の声をかけを行った。被災者には、生活支援相談員がチラシ配布や声がけ、見守りを実施した。今後は、早い時期からの熱中症予防の普及啓発が重要と考えている。
議員 小中学校での熱中症対策と夏休み中の児童センターでの取り組みは。
市長 児童センターでは、小まめな水分補給に努めるとともに日陰を利用することとし、扇風機等も活用した。



▲扇風機による学校での熱中症対策(イメージ)

議員 教室への対策は。
部長 学校により条件が異なる。価格の安い扇風機は予算の中で十分な数が買えるため、各学校の自由裁量に任せている。再度、学校側と話し合いをする。

議員 保健室へのエアコン等の設置は。
部長 次年度以降、整備計画を立て保健室等にエアコン等を設置するよう調整中である。

＜その他の一般質問＞
 ▼市民への情報提供の充実について
 ▼住民参画について
 ▼子ども・子育て支援について

大型商業施設に行政サービスセンターを設置すべき

答 調査検討を重ね
対応していきたい



大友康信 議員

議員 市内にある東北最大級の商業施設である大型ショッピングモールは、本市の交流人口をふやしてくれる強力な観光資源といえる。ここに本市の行政サービスの拠点として、諸証明の自動交付機を設置し、土・日・祝日と夜間の利用時間の拡

大をすれば、市民にとっての利便性は格段に向上する。これは、設置されたショッピングモールにとっては顧客サービス拡充として集客の動機づけとなり、本市にとっても、ここに集まる市内外のたくさんの人々に、本市の先進性と住みやすさの宣伝ができる。また、近隣地域を含めた観光案内や被災地視察の情報案内を併設すれば、シティセールス効果は絶大となる。

市民とショッピングモールと行政にとって、三方よしとなるこの提案は、本市の人口増や住基カードの利用者増



市役所に設置されている自動交付機

にもつながる。

市長 他の自治体の例も参考にしながら市民の利便性の向上に努めていきたい。場所の利用料金や人員配置などの問題がクリアできれば、シティセールスの場として有効で魅力ある場所である。事前に調査や検討すべきことを重ねながら今後対応していきたい。

大規模なショッピングモール内に行政サービスセンターを開設すべきである。

〈その他の一般質問〉
▽住みよいまちづくりについて

進まない震災復興について

答 重く受けとめ丁寧な対応をしていく



相澤 雅 議員

議員 今回の災害は想定外のこと有余に多く、災害から学ぶことが数多くある。市民は安全なまちづくりと言われても、想定できない大災害を身をもって体験したことで、何を信じたらいい

のか理解できないのは当然である。

市長がインタビューで述べた「世代が変われば考えも変わる」というほど軽いことではない。忘れてはならない教訓でもある。

また、計画が先にあるりきの市長のかたくなな態度にも問題がある。市長の夢が閉上の住民全員の夢ではない。適切な民意調達体制の構築や必要な計画の見直しを求めた県の都



▲復興が進まない関上地区

市計画審議会の建議や、採択された「名取市営住宅の早期建設を求める請願」をどう受けとめているのか。最初のボタンのかけ違いから問題が生じていると言われている。被災者の要望に応える努力をすべき。

これらへの対応をどう考えているのか。

市長 附帯意見及び建議を重く受けとめ、第三者の助言を受けつつ事業を進めたい。また、住民の合意形成を図るための新たなまちづくり協議会の設置、地区外に移転する方々との話し合いの場の設定など、丁寧な対応をしていく。

議員 被災者が納得できるような対応を望む。
市長 結果としてまちづくりがこれ以上遅れないよう取り組む。

震災に対するモンゴルからの支援にどう対応したか

答 公私の区別が難しいものもある



小野寺美穂 議員

議員 東日本大震災後海外からいただいたご支援、ご厚意の内容は。 **市長** 震災直後よりこれまで、世界各国から義援金、寄附金及び物資等の心温まる数多くの支援が寄せられた。主なものとしては、ドイツのラインハルト・アンド・ソイヤ・エル



▲ドイツのラインハルト・アンド・ソイヤ・エルンスト財団から寄贈された希望の家

ンスト財団から希望の家。カナダの東北復興プロジェクトからどんぐり・アンみんなどの図書及びゆりあげ港朝市のブースや施設。さらにラオス日本友好協会から震災遺児孤児寄附金として約2500万円をいただいた。 **議員** 世界各国からの支援を広く市民、特に子供たちに知らせることが必要である。支援に対する対応は。 **市長** 寄附者の意向を酌み取ると同時に、そこにご厚意が被災者の方々へ届くよう、対応を行ってきた。 **議員** 以前から交流のあったモンゴルの高校の校長先生が自ら持ってこられたじゅうたん

等、またモンゴルへの招待に対する対応は。 **市長** ご招待は極めて個人的なレベルでのお誘いだった。「ぜひ市長に」とのことだったが、かわりに個人的にご縁のある方が行った。どこまでが公か私かという点難しい。 **副市長** 物資については把握が難しい。 **議員** 国際交流は市が行っており公である。その物資は別な倉庫で管理されていたはずだ。 **副市長** 情報がなく、不明である。

〈その他の一般質問〉
▽震災復興事業に対する効果促進事業について

高齢者の補聴器購入へ補助金を支給すべき

答 独自の補助については考えていない



菊地 忍 議員

議員 難聴とは聴覚が低下した状態をいい、難聴者の数は約2000万人と推計されている。このように多くの方が難聴であるのに対して、その聞こえにくさを解消するための補聴器については普及が進んでいない。その理由として補聴器は高いといった金銭的な面から



▲さまざまなタイプの補聴器

購入をためらう人が多いことが挙げられる。そこで家族とのコミュニケーションや社会参加への促進を図ることを目的に、千葉県船橋市と浦安市、東京都の中央区、大田区、葛飾区、江戸川区など、高齢者の補聴器購入に対し補助金を支給している自治体も多くある。本市でも実施すべきと考えるがどうか。 **市長** 身体障害者福祉法における聴覚障害者と認定された方は、身体障害者手帳が交付され、事前の申請により

補聴器が必要と認められるとその購入費または修理費が支給される。市としては、聴覚障害者の認定基準を満たし、身体障害者手帳が交付された方を対象者と考えている。 **議員** 補聴器は安いものでも3万円、高いものでは50万円もする。そのため大都市だけでなく人口の少ない町であっても基準に満たない方への支援として支給している。本市も実施すべき。 **市長** 自治体によって考え方が違う。国の基準があり、それを超えての独自の補助は考えていない。

〈その他の一般質問〉
▽「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」への対応について

空き家等の適正管理に関する条例を制定すべき

答 庁内で調整を図りながら検討したい



山田 司郎 議員

議員 適正な管理が行われていない空き家等は、防災性や防犯性の低下、ごみの不法投棄や雑草繁茂による虫の発生など衛生面の悪化、さらには景観を損なうなどさまざまな問題発生につながることに懸念される。本市にも窓ガラスが



▲庭木の越境や雑草繁茂が見られる空き家

割れていたり、雑草が生い茂っていたり、中には倒壊寸前と思われる空き家もある。

市長 クリーン対策課と消防などで現場を確認後、所有者等に文書で通知や指導をしている。今後関係機関と連携しながら住民の安全や生活環境の保全を図りたい。

議員 防犯上の問題は防災安全課、雑草繁茂はクリーン対策課、枯草になって放火の恐れ

が出れば消防という窓口体制は好ましくない。相談対応も含めて空き家等に関する窓口を一本化すべき。

市長 どこに一本化するか内部で整理ができていない。行政として一歩踏み出さなければならぬような深刻な状況とは考えていない。

議員 生活環境の保全並びに防災及び防犯の実現に向けて、空き家等の適正な管理に関する条例を制定すべき。

市長 他市町村の動向を見ながら調査を重ね、庁内で調整を図りながら検討していきたい。

復興事業の進捗状況をわかりやすく示すべき

答 「区画整理だより」の発行等を検討



荒川 洋平 議員

議員 復興事業の進捗状況を知らせることは、被災者へ安心感を与えることにつながる。わかりやすく、かつ随時更新し被災者のみならず広く市民に示すべき。

市長 これまで進捗状況については、説明会



▲ 関上地区復興まちづくり事業説明会の様子

や個別面談で被災者に対して直接説明を行うことや、市のホームページや復興だよりで、市民を対象に情報提供をしてきた。今後は、

きめ細やかな説明機会を設けるとともに、事業に対する理解を深めていただくために「区画整理だより」の発行についても検討している。さらに、ホームページをわかりやすく工夫するなどして、被災者のみならず、広く市民に対してこれまで以上

議員 関上地区については、復興事業の進捗状況を直接見ることのできない被災者が多いと考えるが、対応策は、

市長 具体的な検討はまだだが、漁港や朝市、まちづくりの予定地にライブカメラを設置するなどの情報提供も考えていきたい。

〈その他の一般質問〉
▼東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理について▼市ホームページの利便性について

議員 鎮魂慰霊碑を早急につくるべきと考えるが、時期と建立場所を伺う。

市長 震災犠牲者の方々の慰霊空間、あるいはふるさとの思いをはせる空間として、メモリアル公園等の整備を目指していく。当面は、閉上を訪れ



佐藤正博 議員

慰霊碑の建立並びにかさ上げ前の不明者搜索をすべき

答 整備を検討・補正予算を計上

また、今回の整備は、現状を踏まえた慰霊碑のみの先行整備となるが、震災の慰霊空間を整備すべき場所が決まれば、モニメントの移設を含め、震災で亡くなられた方々一人一人の名前を刻んだ碑とあわせて再整備を

る方々が震災によって犠牲になられた方々に手を合わせられるような、また震災の記憶を将来の世代まで伝えていけるような震災モニメントを、平成26年のお盆を目指して、閉上の震災の象徴となっている日和山周辺に先行整備したいと考えている。



▲慰霊碑建立が予定されている日和山周辺

また、今回の整備は、現状を踏まえた慰霊碑のみの先行整備となるが、震災の慰霊空間を整備すべき場所が決まれば、モニメントの移設を含め、震災で亡くなられた方々一人一人の名前を刻んだ碑とあわせて再整備を

る方々が震災によって犠牲になられた方々に手を合わせられるような、また震災の記憶を将来の世代まで伝えていけるような震災モニメントを、平成26年のお盆を目指して、閉上の震災の象徴となっている日和山周辺に先行整備したいと考えている。

図りたい。

議員 市内で行方不明者が41人いる。かさ上げ前に行方不明者の搜索をすべき。

市長 行方不明者の家族から、新たな搜索箇所について要望があり、補正予算を計上している。

また、閉上地区のかさ上げ工事の際に、住宅の基礎や地下埋設物の撤去を予定している。工事関係者に対し、行方不明者の搜索を行いながら作業を実施するよう指示していきたい。

〈その他の一般質問〉
▽(仮称)名取市防災公園・慰霊施設について

ご来場ありがとうございました! 議会懇談会を開催しました



平成25年度の議会懇談会を11月11日から14日までの4日間、公民館や仮設住宅集会所などを会場に市内16カ所で開催しました。

議会懇談会は、市議会の活動状況を地域に出向いて直接市民の皆様へ報告・説明し、議会に対する意見や市政に対する提言などをお聞きすることにより、市議会の一層の充実を図るとともに、市民の皆様との意見交換を積極的に進めることを目的に、平成21年度から開催しているものです。

今年度は、議員21人が7人ずつ3班に分かれ、平成25年9月定例会の報告と地域の課題をテーマに各

なお、報告書は各公民館と仮設住宅集会所に置いてありますのでごらんください。また、市議会ホームページでもごらんいただけます。

会場を回りました。5年目を迎えた今回の議会懇談会には、4日間で延べ208人の方にお越しいただき、226項目のご意見やご要望を伺うことができました。誠にありがとうございました。

伺ったご意見等については、調査・検討を行い、市当局に対して必要な提言等を行いました。

市議会ホームページ
<http://www.city.natori.miyagi.jp/soshiki/gikaijimu>

委員会審査

条例

職員給与条例の一部を改正する条例

対象となる職員への対応は

委員 55歳以上の職員のこれまでの取り扱いは。

課長 標準で2号俸昇給している。

委員 各職員に与える影響及び全体としての抑制額は。

課長 今回の対象者は63人で、一人当たり月1500円、全体で9万4000円となる。

市税条例の一部を改正する条例

改正による影響について

委員 改正により何社が該当するのか。

課長 平成25年度対象社は償却資産を所有している2つの法人である。

委員 影響額は。

課長 2つの法人を合わせて222万3000円である。

改正の内容

東日本大震災被災者が集団で、代替取得を目的とする特定の補助事業を活用して取得等を行った家屋及び償却資産について、地方税法の定める割合等により固定資産税を減免することとした。

乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

検討状況について

委員 入院費・通院費ともに拡充する検討はしたのか。

部長 議会における一般質問や他自治体の状況から、中学3年生までの入院費助成とした。

委員 今後、さらなる拡充も考えられるのか。

部長 二ーズ調査の結果を踏まえて検討したい。

本会議審議

補正予算

一般会計歳出

被災者捜索委託料について

議員 捜索の場所と内容は。

課長 行方不明者家族からの要望があれば捜索すると回答してきた。小塚原字東中塚・字堰場地区については要望があり、土砂の堆積場所と水路等を人力及び一部機械での捜索を行う。早期に発注し、委託先は前回の業者を含めて検討したい。



▲平成24年4月に行われた一斉捜索の様子

認可化移行可能性調査補助金について

議員 内容は。

課長 待機児童解消加速化の取り組みで、平成27年4月の子ども・子育て支援制度のスタートに先立ち、認可外保育施設の認可化へ向けた計画策定に係る費用を補助するもの。市内5カ所のうち、確認した1カ所分を計上した。

市民墓地公園PFI可能性調査委託料について

議員 具体的な内容は。

課長 被災者向け墓地は8

畛と広大であり、管理にかなりの費用が必要である。市で一般市民墓地を造成から管理までを行うのは財政負担が大きい。民間事業者が持つ造成や管理等のノウハウを活用した市民墓地の整備が可能かを調査する。

浜街道線に係る補償について

議員 内容は。

課長 国道4号バイパス周辺の用地取得に係るネットフェンスや給水設備、墓石の移転、ブロック塀の補償などに係る費用である。

議員 補償関係は完了か。

課長 用地についてはおおむね完了している。



▲物件移転補償が完了する市道浜街道線

緊急学校支援員賃金について

議員 人数や仕事の内容は。

課長 生徒指導上の問題等により、教育活動の推進が

困難な学校の正常化を図る目的で、教員の補助的業務を担う支援員4人を配置する。

議員 支援員の役割は。

課長 授業中、教員が対応しきれない部分の見守り等を行う。

学校給食用備品購入費について

議員 内容は。

課長 増田小学校の牛乳保冷庫の更新である。

平成26年度において児童数増加が見込まれ、より大きい保冷庫が必要となった。緊急性が高いと判断し増額補正するもの。

その他

財産の取得の変更について

補正額の内容は

議員 パイプハウス本体の変更はないのか。増額分の内容は。

課長 パイプハウスの変更はない。井戸設備を、当初の打ち込み式よりも多くの水量を確保できるケーシング方式に変更する。穴の大きさや管の口径が変わるため増額となった。

追加議案

条例

平成23年東日本大震災に伴う災害危険区域の指定に関する条例の一部を改正する条例

災害危険区域の拡大について

議員 対象世帯数は。
課長 閉上地区の防災集団移転の事業計画上では、被災戸数が1297戸、1463世帯と捉えている。
議員 新たに対象となる方への説明は。
課長 閉上に住み続けたいという方には、個別に制度の内容等を説明している。

大字	小字
閑上	二丁目の一部、三丁目～七丁目、東須賀、庚申塚の一部、東場の一部、百刈
小塚原	遠東、蟹穴、大汐入、赤浜、汐朽、下田、新鍋島の一部、東土手外の一部、中島の一部
下増田	東、広浦、南原、北原東、北原西、台林、西経塚、前干場、屋敷、小沼
杉ヶ袋	小古田、懸向、金洗

▲指定された全ての災害危険区域

補正予算

一般会計歳出

標準宅地の不動産鑑定評価委託料について

議員 対象戸数、調査期間、委託先の内容は。また、補正額の根拠は。
課長 調査数は、市街化区域200地点、市街化調整区域148地点で、委託期間は平成26年3月末までである。委託先は、競争入札参加登録をしている不動産鑑定業者である。
補正額は、11月末の競争入札での積算内訳調査の結果、設計額と実勢価格に開きがあり、契約できなかった差額分の増額である。

被災市街地復興土地区画整理事業特別会計予算

土地区画整理審議会委員報酬について

議員 審議会委員の選挙の時期は。
課長 平成26年3月を予定している。
議員 年度内の審議会の開催予定は。
課長 当選人の確定、勉強会、土地評価委員の選任で3回を予定している。

請願

継続審査

民生教育常任委員会に付託された次の請願は、閉会中の継続審査として引き続き審査することになりました。

◇名取市の公立幼稚園の廃止撤回を求める請願
(公立幼稚園の廃止撤回を求める会 代表 目黒陽子氏 外3人)

請願審査の概要

民生教育常任委員会において、紹介議員及び請願者、教育委員会から聞き取りを行い、慎重に審査を進めました。

紹介議員及び請願者からの聞き取りでは、平成25年10月1日号の広報なとりにおいて、平成27年度の募集を行わない可能性があると掲載され、保護者が不安を感じていること、経済的な公私間格差の問題、教育委員会による説明の状況などについて、意見を伺いました。

教育委員会からの聞き取りでは、公立幼稚園の開園から廃止検討に至る経緯や、私立幼稚園であっても、就園奨励費により通園でき

ることなどについて、説明を受けました。

その後の審査では、委員から「教育委員会は、保護者や地域の方々から理解を得る努力がまだまだ足りない」、「国では幼児教育の無償化の流れがある。今後子ども・子育て支援制度の動向を踏まえ、判断する必要があるので、継続審査とすべき」などの意見が出されました。

以上の経過を踏まえて、本件請願については、今後関係者からの聞き取りを行い、子ども・子育て支援制度の動向を注視することとし、継続審査としました。

陳情

◇愛島台小学校・公民館等設置に関する陳情
(愛島台自治会 会長 小野寺憲和氏 外3人)

◇市道七島浜田線の未着工部分の完成に関する陳情
(下余田町内会 会長 中澤 仁氏 外1人)

◇市道飯塚成田線の着工完成に関する陳情
(下余田町内会 会長 中澤 仁氏 外1人)

◇市道飯塚成田線の着工完成に関する陳情
(下余田町内会 会長 中澤 仁氏 外1人)

◇市道鹿島草倉田線の着工完成に関する陳情
(下余田町内会 会長 中澤 仁氏 外1人)

◇市道本郷堀内線外3路線に係る歩道設置等拡幅改良工事及び同路線に係る水路(側溝)改良工事に関する陳情
(本郷契約会 会長 高橋昭五郎氏 外59人)

◇市道町田線及び本郷薬師堂線の拡幅改良工事及び同路線に係る水路(側溝)の改良工事に関する陳情
(本郷契約会 会長 高橋昭五郎氏 外23人)

◇第一貨物株式会社仙台南支店南側を通り飯野坂二丁目住宅団地に通じる道路の新設に関する陳情
(飯野坂契約会 会長 相原繁雄氏 外3人)

◇名取市復興仮設店舗「閑上さいかい市場」契約期間延長に関する陳情
(閑上さいかい市場振興会 会長 相澤信幸氏)

◇名取市議場に日本国旗、名取市旗の掲揚に関する陳情
(国旗・国歌に敬意を表し私達の街・議会に国旗の掲揚をする会 名取市代表 中沢和憲氏)

◇名取市議場に日本国旗、名取市旗の掲揚に関する陳情
(国旗・国歌に敬意を表し私達の街・議会に国旗の掲揚をする会 名取市代表 中沢和憲氏)

◎審議した議案とその結果

※ ○は賛成、×は反対

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名(議席番号順)																		
					荒川 洋平	大友 康信	小野 泰弘	佐々木 哲男	及川 秀一	大沼 宗彦	佐藤 正博	長南 良彦	山田 司郎	菊地 忍	相澤 祐司	小野寺 美穂	郷内 良治	本郷 一浩	山口 實	渡邊 武	今野 栄希	星居 敬子	相澤 雅
第5回定例会 市長		議案第 96 号	名取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 97 号	名取市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 98 号	名取市職員等の旅費支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 99 号	名取市市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 100 号	名取市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 101 号	名取市火災予防条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 102 号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 103 号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 104 号	財産の取得の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 105 号	財産の取得の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 106 号	財産の取得の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 107 号	財産の取得の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 108 号	平成25年度名取市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 109 号	平成25年度名取市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 110 号	平成25年度名取市土地取得特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 111 号	平成25年度名取市水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第 112 号	平成25年度名取市下水道事業等会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 113 号	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 114 号	名取市特別会計設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 115 号	名取市平成23年東日本大震災に伴う災害危険区域の指定に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 116 号	平成25年度名取市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 117 号	平成25年度名取市被災市街地復興土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員		議会案第 9 号	ブラック企業への厳正な対処を求める意見書	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

会派の異動

12月18日付で次のとおり会派の異動がありました。
○結いの党名取
今野 栄希

議会を傍聴
しませんか

本市議会では、定例会が年に4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。
本会議・各委員会は一般に公開され、どなたでも傍聴することが出来ます。

傍聴を希望される方は、市役所議会棟2階の議会事務局までお問い合わせください。
また、開かれた議会を目指した取り組みの一環として、インターネットでの映像配信(生中継・録画中継)も行っております。ご自宅からでも議会の様子をご覧いただけます。
ぜひご利用ください。

今期定例会の傍聴者数は、
延べ**35人**でした。
平成26年2月定例会は、
2月25日(火)
開会予定です。

民生教育

委員長	山田 郎	副委員長	大沼 宗彦
委員	荒川 洋平	委員	小野 泰弘
//	菊地 忍	//	相澤 祐司
//	郷内 良治	//	本郷 一浩
//	渡邊 武	//	丹野 政喜

請願及び意見書審査を行った後、「愛島台小学校・公民館等設置に関する陳情」について、愛島台の学校建設予定地の現地調査を行い、陳情者から小学校や複合施設の必要性についてお話を伺いました。

市当局からの聞き取り調査では、小学校を新設する際の設置基準に、クラス、学級数が現状も近い将来も満たないこと、公民館を小学校区単位に設置する先進的な取り組みがなされており、その枠を超えて公民館や複合施設を建設することは難しいとの説明がありました。

以上の調査経過を踏まえ、住民の思いは十分理解できるものの、現状では陳情者の意に沿うことは難しいとの結論に至りました。

次に、関上土手の松(あんどん松)の保全

12月定例会 常任委員会現地調査報告

総務建設

委員長	相澤 雅	副委員長	佐藤 正博
委員	大友 康	委員	木南 哲良
//	及川 秀一	//	山口 貴子
//	小野 寺美	//	長山 敬
//	今野 栄希	//	星 居
//	山田 龍太郎		

陳情6件及び11月に開催した議会懇談会で出された要望等3件に係る現地調査を行いました。

陳情の内容は、いずれも地域の安全、安心した日常生活を送る上で最も重要な道路の新設、拡幅整備、歩道整備、側溝改良等でした。

陳情箇所の半数は、用地買収から既に10年以上が経過しており、陳情者からは一向に進まない道路整備に対する不安と早期着工を望む声を伺いました。また、空港周辺地域の方からは、空港整備対策基金等を有効活用した道路整備を望む声を伺いました。

市当局からの聞き取り調査では、今後の整備計画について、年度内に一部着手する

道路や圃場整備事業と連携し着工する道路、平成27年度に交付金を活用する計画道路等の説明を受けました。

議会懇談会での要望等も含め、一日も早い地域住民の要望実現のために努力されるよう要請しました。



▲関上土手の松(あんどん松)の現地調査の様子



▲陳情箇所の現地調査の様子

業務について現地調査を行いました。現存する46本の松のうち、松くい虫被害により枯死し回復見込みなしと判断された1本について、他樹木への感染等の防止のため伐採処理を委託するの内容でした。

平成二十六年二月一日(年四回発行)

東日本大震災復興調査特別委員会

平成24年2月の委員会設置以降、会議を重ねてきました。平成25年12月5日の第37回委員会の内容は次のとおりです。

●東日本大震災第三者検証委員会について

これまでの経過及び、平成25年度内に最終報告書を取りまとめる方針に変更はないとの説明がありました。

●震災復興交付金について

平成25年11月29日に交付額の内示のあった第7回復興交付金事業及び、市街地復興効果促進事業の内容について説明がありました。

防災公園整備事業における避難丘のあり方、区画整理区域内における家屋への対応等につ

て活発な質疑がなされました。

●関上地区復興まちづくりについて

県都市計画審議会における附帯意見・建議の内容及び対応、並びに各事業の内容及びスケジュール等について説明がありました。

区画整理事業区域外への移転を希望する方への対応について多くの質疑がなされ、市当局からは、附帯意見及び建議の内容を踏まえ、新たなまちづくり協議会の意向に沿った対応をした

編集後記

昨年11月に各地区にて開催した議会懇談会において208人という多くの皆様にご参加いただきました。議会の情報発信についても多くのご意見をいただきましたので、市民の皆様により広く、わかりやすい形で伝えられるよう議会広報特別委員会としても努めていきます。

今後、復興事業が本格的に進んでいくことから、関連車

両の通行もふえることが予想されます。議会としても安全管理や環境への配慮を求めています。皆様も車の運転、道路の横断には十分にお気をつけください。

委員長	星 居 敬子
副委員長	荒川 洋平
委員	小野 泰弘
	及川 秀一
	大沼 宗彦
	佐藤 正博
	山田 祐司
	相澤 祐司

名取市議会だより 第一四五号